

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	---	-------	-----------

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	96	暴力追放伊賀市民会議経費	会計	01	一般会計	
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	款	02	総務費	
施策	6	防犯意識の高揚	項	01	総務管理費	
			目	21	諸費	
			細目	103	暴力追放伊賀市民会議経費	
			細々目	01	暴力追放伊賀市民会議経費	
基本計画該当頁	87	担当部課	コード	300100	評価者氏名	藤森尚志
行革大綱の重点事項番号	6	名称	総合危機管理室		連絡先	22 - 9640 (内線) 2321

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が) 市民、団体、企業等 (※対象件数)	成果(どうなるのか) 暴力追放運動を上げ、暴力がなく安全、安心に暮らせる。
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
事業内容	暴力追放伊賀市民会議の開催 暴力追放伊賀市民会議事務局の運営 啓発の推進及び会員の拡大	状況変化等 経済状況の変化等(会社倒産、組織統合等)により、会員数が減少している。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
暴力関係講演会の開催	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( ) 人
2 配置(予定)人員	千円
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
刑法犯検挙数	刑法犯発生件数を分母とし、刑法犯検挙件数を分子とする比率を指標とする。 (277件/1,332件(H19))	%	目標 35 実績 35	目標 37 実績 20.79	37	40
会員数の減少対策	景気低迷による各企業等の倒産、廃業などにより脱退件数が増えるなか、各機関、団体等への啓発により、会員の登録を図る。	団体	目標 205 実績 205	目標 180 実績 183	170	170

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	暴力団組織及び暴力団が関係している事件等は予断を許さない状況であるため、暴力団等を根絶するため引き続き県警察と一体となって、事業を進めていく必要がある。
有効性	3	会員数の大きい組織であるため実際の活動は事務局中心となっており、その活動内容等について市民への周知を上げていく必要がある。
達成度	4	講演会の開催や経済状況の変化(会社倒産、組織統合等)などの厳しい状況にも関わらず、一定の目標は達成されている。
効率性	4	会議の開催を、公共施設を利用するなどの工夫により経費削減を行っている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	縮小	講演会や会議の開催を公共施設等を利用し、また、啓発活動などにおいて経費を削減し対費用効果を図る。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
委託	↔	負担金			800	負担金			700	負担金			700	負担金			700
工事	↔																
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ		800	事業費計(A)	Σ		700	事業費計(A)	Σ		700	事業費計(A)	Σ		700
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,440												
フルコスト (A)+(B)					2,240				2,140				2,140				2,140

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	800	700	700	700
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
備考	特定財源の名称・補助基本額・率	800	700	700	700
	地方債の区分と充当率等	800	700	700	700